

第7章

まちづくりの方向性



1 まちづくりの方向性

本市は、基礎自治体として取り組むべき政策、施策を着実に推進することが求められる一方、本市を取り巻く環境が変化し、地域課題も多面的、複合的な課題が増える状況に対して特定の政策、施策の枠にとらわれず、分野横断的に取組を推進することも求められています。

そこで、目指すまちの姿の実現に向けて、特定の政策、施策の枠を超えて分野横断的に取り組む「輝く未来戦略」と基礎自治体として取り組むべき政策、施策を体系化した「分野別政策・施策」を推進します。



輝く未来戦略

昨今の少子化に加えて、これまで増え続けてきた総人口が減少に転じる局面を迎えている本市が、市民の定住化や自然増により人口減少を克服するためには、市内外の在住者から生活の拠点として選ばれるまちにならなくてはなりません。

そこで、多面的、複合的な地域課題に対して経営資源を優先的に配分した分野横断的な取組を掲げ、まちづくりを推進します。

参考指標



転入転出者

人口

合計特殊出生率

輝く未来戦略は、目指すまちの姿の実現に向けて、特定の政策や施策にとらわれずに分野横断的に取り組むものであるため、数値目標は設定せずに「人口」、「転入転出者」、「合計特殊出生率」を時点における達成状況を把握するための参考指標とします。

“ひと”が輝く

ひとがつながり、市民力が高まり、 一人一人が活躍するコミュニティを目指します。

市民生活を取り巻く環境の変化に伴い、市民ニーズが多様化、複雑化している社会において、まちづくりの原動力がひとであるという視点に立ち、一人一人が活躍することで高まる市民力によって、まちに新たな価値が生まれる取組を推進します。



“まち”が輝く

暮らしに喜びがあふれ、 快適に住み続けられるまちを目指します。

これまで資源循環で取り組んできたサーキュラーエコノミーの推進を拡大して、まちづくり全体に経済・環境・社会の循環という視点を取り入れ、市民が良好な環境で暮らしやすい持続可能な住宅都市に向けた取組を推進します。



“未来へつなぐ”

子どもたちの夢が叶えられる、 希望にあふれる社会を目指します。

未来を担う子どもたちの健やかな成長を地域全体で支えるため、子どもたちを取り巻く環境が変化する中においても柔軟に対応しながら、子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を第一に考える取組を推進します。



分野別政策・施策

本市は、基礎自治体として様々な政策や施策に取り組み、まちづくりを推進していく必要があります。

そこで、基礎自治体として取り組むべき7の政策と32の施策を定め、政策及び施策の方向性、進捗状況を把握するための指標を体系的に掲げて、まちづくりを推進します。

政策

1



● 共に学び、健やかに育つまちづくり

施策1 子育て世代包括支援

施策2 子どもたちの健全育成

施策3 保育

施策4 義務教育

政策

2



● 地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくり

施策5 地域の魅力向上

施策6 市民協働

施策7 産業振興

政策

3



● 安全・安心で環境にやさしいまちづくり

施策8 安全・安心な生活環境の整備

施策9 防災・減災

施策10 地球温暖化対策の推進

施策11 資源循環の推進

施策12 消防力の強化

政策

4



● **健康に暮らせるまちづくり**

施策13 健康医療

施策14 スポーツ

施策15 生涯学習・文化芸術

政策

5



● **共に認め合い、支え合うまちづくり**

施策16 地域福祉

施策17 高齢者の支援

施策18 介護保険

施策19 障がい者の支援

施策20 生活困窮者の自立支援

政策

6



● **緑あふれる快適なまちづくり**

施策21 都市計画

施策22 市街地整備

施策23 公園緑政

施策24 道路

施策25 上下水道

政策

7



● **持続可能な行財政運営**

施策26 行政経営

施策27 情報発信

施策28 基地政策

施策29 デジタル化推進

施策30 多様性社会への対応

施策31 財政運営

施策32 ファシリティマネジメントの推進

施策ページの見方

施策の番号と名称です。

施策の必要性について記載しています。
なお、前半部分では、施策の必要性を分かりやすくするために、本市の状況やこれまでの取組を説明しています。

施策でどのような取組をしているのかイメージしやすいように、具体的な事例を紹介しています。(施策の中心となる事業ではありません)

政策 1 共に学び、健やかに育つまちづくり

施策 1 子育て世代包括支援

子育て家庭の核家族化が進行し、家族や地域社会との関係性の希薄化に伴う対応策として、平成30年度から子育て世代包括支援センターにおいて、母と子の健康保持や増進、子育てに関する相談などを一体的に提供してきました。

全ての妊産婦や子育て家庭が安心して子どもを産み育てられる地域であるために、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援の充実に取り組む必要があります。

取組の具体的事例

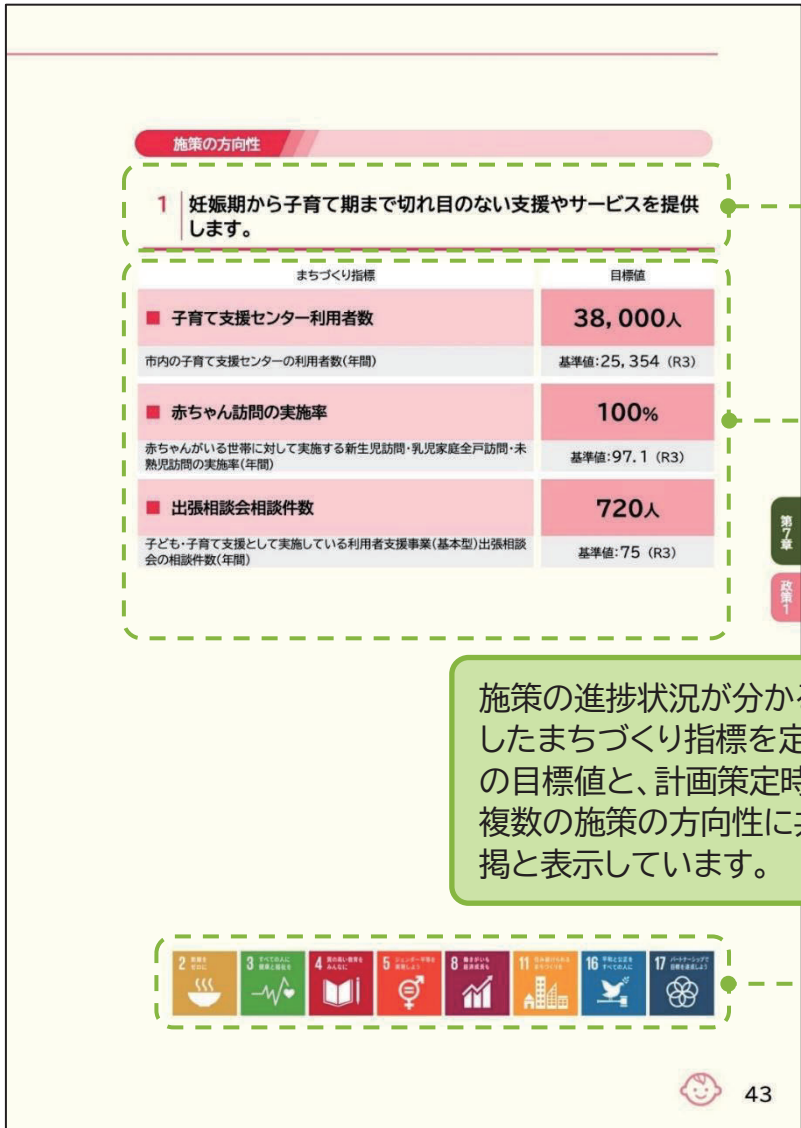
ネウボラざまりん(子育て世代包括支援センター)



妊娠・出産・育児に関する悩みを一つの窓口で対応し、切れ目のないサービスを提供しています。

関わる主な市民等 | 妊娠、出産、育児期の世帯

42



施策の必要性を踏まえた取り組むべき方向性です。

施策の進捗状況が分かるように施策の方向性に対応したまちづくり指標を定めています。令和12年度までの目標値と、計画策定時の基準値を設定しています。複数の施策の方向性に共通するまちづくり指標は再掲と表示しています。

施策に関連する SDGs のアイコンを表示しています。

共に学び、健やかに育つ まちづくり

近年の少子化の影響を受け、本市の年少人口は減少傾向にあるものの、共働き世帯の増加に伴う保育に対する需要は高まり、待機児童が恒常的に発生している状況です。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による小中学校の臨時休業のような予期せぬ状況下でも、児童生徒の教育的ニーズを把握し、確かな学力、健やかな体、豊かな心を育む必要があります。

こうしたことを踏まえて、子育て世代が安心して子どもを産み育てられるように、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援に努めるとともに、学校・家庭・地域の連携強化により学校教育を充実させ、子どもたちが心豊かに学び、健やかに成長することを支えるため、子どもたちを取り巻く環境が変化する中においても柔軟な対応ができるまちづくりに取り組みます。

● 共に学び、健やかに育つまちづくり

施策1 子育て世代包括支援

施策2 子どもたちの健全育成

施策3 保育

施策4 義務教育

関連個別計画



- 座間市子ども・子育て支援事業計画
- 座間市保育園整備計画
- 座間市教育大綱
- 豊かな心を育むひまわりプラン

現在と”未来”の市民の声

未来

座間市って保育園に
入りやすいよね!

学校がきれいだから
いくのが楽しみ!

子どもや子育て家庭への
サポートが充実していて、
子育てにやさしい環境だよね!

現在

学校がきれいだったら
うれしいな

待機児童が多くて
保育園に入れない、
どうしよう・・・

子育てってこんなに
大変なのか、
二人目は諦めようか



施策
1

子育て世代包括支援

子育て家庭の核家族化が進行し、家族や地域社会との関係性の希薄化に伴う対応策として、平成30年度から子育て世代包括支援センターにおいて、母と子の健康保持や増進、子育てに関する相談などを一体的に提供してきました。

全ての妊産婦や子育て家庭が安心して子どもを産み育てられる地域であるために、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援の充実に取り組む必要があります。

取組の具体的事例

ネウボラざまりん(子育て世代包括支援センター)



妊娠・出産・育児に関する悩みを一つの窓口で対応し、切れ目のないサービスを提供しています。

関わる主な市民等 | 妊娠、出産、育児期の世帯

施策の方向性

1 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援やサービスを提供します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|--|--|
| <p>■ 子育て支援センター利用者数</p> <p>市内の子育て支援センターの利用者数(年間)</p> | <p>38,000人</p> <p>基準値:25,354 (R3)</p> |
| <p>■ 赤ちゃん訪問の実施率</p> <p>赤ちゃんがいる世帯に対して実施する新生児訪問・乳児家庭全戸訪問・未熟児訪問の実施率(年間)</p> | <p>100%</p> <p>基準値:97.1 (R3)</p> |
| <p>■ 出張相談会相談件数</p> <p>子ども・子育て支援として実施している利用者支援事業(基本型)出張相談会の相談件数(年間)</p> | <p>720人</p> <p>基準値:75 (R3)</p> |



施策
2

子どもたちの健全育成

核家族化の進行や保護者の就労状況など子どもたちを取り巻く環境の変化により、子どもたちの居場所づくりが重要となっています。

こうしたことを踏まえて、地域全体で子どもたちを育てていくために、子どもたちが健やかに育つ場を確保するとともに、一人一人に寄り添った支援に取り組む必要があります。

取組の具体的事例

児童ホームの開設



児童の健全育成のため、新・放課後子ども総合プランに基づく一体型の児童ホームを開設します。

関わる主な市民等 | 放課後に児童の保育を必要とする子育て世帯

1 | 子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|---|-------------------------------------|
| <p>■ 児童ホーム待機児童数</p> <p>児童ホーム利用申込に対する待機児童数(4月1日現在)</p> | <p>0人</p> <p>基準値:64 (R4)</p> |
| <p>■ 青少年育成事業の参加者数</p> <p>青少年フェスティバル・青少年芸術祭・成人式・青少年センター主催事業の参加者数(年間)</p> | <p>8,000人</p> <p>基準値:2,514 (R3)</p> |



施策
3

保育

保護者の就労状況の変化に伴い、保育に対する需要がますます高まる中、認可保育所等に関しては入所希望者数に対して定員数などの環境整備が追い付かず、恒常的に待機児童が発生しています。

こうしたことを踏まえて、認可保育所等の定員増により子育て家庭が安心して子どもを預けられる環境を整備するとともに、保育の無償化などによる安定したサービスの提供に取り組む必要があります。

取組の具体的事例

保育所の拡充



保育所の待機児童解消のため、保育所の新設や施設整備を行い、保育所の定員増加を進めています。

関わる主な市民等 | 保育を必要とする子育て世帯

1 | 保育所の待機児童を解消します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|---------------------------|-------------|
| ■ 保育所の待機児童数 | 0人 |
| 保育所等利用申込に対する待機児童数(4月1日現在) | 基準値:50 (R4) |



施策
4

義務教育

多様な変化の時代を生きる子どもたちが個々の特性を生かし共に育つ教育を実践しています。

学校教育を充実するために、児童生徒が安心して楽しく学校生活を送れる環境づくりに取り組む必要があります。

取組の具体的事例

コミュニティ・スクール



地域とともにある学校づくりのため、学校と地域の人々(保護者・地域住民等)が児童生徒の豊かな心を育む取組を進めています。

関わる主な市民等 | 学校職員、保護者、各小中学校区で居住や活動をしている市民等

施策の方向性

1 | 児童生徒が学校で楽しく生活できる環境づくりに努めます。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|--|-------------|
| ■ 学校生活が楽しいと思っている児童生徒の割合 | 92% |
| アンケートで「学校生活が楽しいと思っている」と回答した児童生徒の割合(調査時点) | 基準値:88 (R4) |

2 | 地域とともにある学校づくりを目指します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|---|-------------|
| ■ 地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができていると感じる教職員の割合 | 93% |
| アンケートで「地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができていると感じる」と回答した教職員の割合(調査時点) | 基準値:89 (R4) |
| ■ 地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができていると感じる保護者の割合 | 83% |
| アンケートで「地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができていると感じる」と回答した保護者の割合(調査時点) | 基準値:79 (R4) |



地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくり

本市は、伝統的な大凧まつりや夏の風物詩として定着したひまわりまつりなどの地域資源と、市マスコットキャラクター「ざまりん」を効果的に活用してシティプロモーションを推進してきました。また、平成27年に施行した座間市市民協働推進条例に基づき、市民と行政が協働して地域課題に対応してきました。さらに、本市は首都圏へのアクセスと消費地への近さという地の利が注目され、近年では大型商業施設や物流施設の立地が続いています。

こうしたことを踏まえて、市民、団体、企業等の多様な主体との連携を通して、本市の地域資源を活用したシティプロモーションを推進するとともに、本市の特長を最大限に活用した産業振興を図りながら地域が一体となって主体的にその魅力を高め、にぎわいのあるまちづくりに取り組みます。

● 地域の魅力を高め、にぎわいのあるまちづくり

施策5 地域の魅力向上

施策6 市民協働

施策7 産業振興

関連個別計画



○人・農地プラン

○創業支援等事業計画

現在と”未来”の市民の声

未来

市外の人と話すときは、
いつも座間市の自慢するよ！

自分の活動がまちづくりに
貢献できていると思うと
気持ち良いね！

仕事も買い物も市内でできるから、
生活も充実している！

現在

地域に貢献したいと
思うけど、きっかけが
見つからない・・・

座間市を紹介するとき、
いつも何を話そうか
迷っちゃう

自由な時間を増やしたいから、
市内で働けるといいなあ



施策
5

地域の魅力向上

本市の総人口は近年増加している状況ですが、今後は減少に転じると見込んでいます。

人口減少社会においても本市が持続的に発展するために、シティプロモーションの推進や人々の交流を通じて活力あるまちづくりに取り組む必要があります。

取組の具体的事例

地域資源を活用したイベント



市民の愛着や誇りの醸成、本市の魅力向上のため、市民、関係団体等と連携し、大風まつりなどのイベントを開催しています。

関わる主な市民等 | 実行委員会等の関係者、ボランティア、来場者

施策の方向性

1 シティプロモーションを推進し、郷土に対する愛着と誇りの醸成や地域資源の活用に取り組みます。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|--|---------------------------------------|
| <p>■ 座間市に愛着や誇りを持っている市民の割合</p> <p>アンケートで「座間市に愛着や誇りを持っている」と回答した市民の割合(調査時点)</p> | <p>75%</p> <p>基準値:69 (R4)</p> |
| <p>■ 特産品等認定数</p> <p>特産品、推奨品として認定されている品目数(3月31日現在)</p> | <p>34 件</p> <p>基準値:24 (R4)</p> |

2 関係人口や交流人口の拡大に取り組みます。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|--|--|
| <p>■ 入込観光客数</p> <p>市内を訪れた観光客数(年間)</p> | <p>512,000人</p> <p>基準値:109,790 (R3)</p> |
| <p>■ ふるさと納税返礼品送付件数</p> <p>ふるさと納税に対する返礼品の送付対象となった寄附件数(年間)</p> | <p>12,000件</p> <p>基準値:2 (R3)</p> |



施策
6

市民協働

本市では座間市市民協働推進条例及び座間市市民参加推進条例に基づき、少子高齢化や価値観の多様化などによる地域コミュニティの希薄化や地域活動の担い手の減少といった様々な地域課題に市民と行政が協働して対応しています。

市民との協働によるまちづくりを実現していくためには、地域コミュニティの活性化が重要であることから、自治会をはじめとして、地域課題に取り組む団体等の自主的な活動を支援するとともに、市民、団体、企業等の多様な主体が連携・協力し、市民の力を最大限に発揮できる環境づくりに取り組む必要があります。

取組の具体的事例

地域コミュニティ活性化・支援の環境づくり



地域コミュニティの活性化に向け、自治会等の地域活動支援や協働のきっかけとなる環境づくりとして、市民交流プラザ(プラっとざま)、各コミュニティセンター及び市民活動サポートセンターの利活用を促進しています。

関わる主な市民等 | 地域活動に参加する市民、施設を管理する団体

施策の方向性

1 市民等と行政が対等の立場で役割と責任を担い合い、協働してまちづくりを推進します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|---|---|
| <p>■ 協働事業に資する協定数</p> <p>座間市市民協働推進条例第7条に基づく協働事業により締結されている協定数(4月1日現在)</p> | <p>197協定</p> <p>基準値:164 (R4)</p> |
| <p>■ 市民参加手続数</p> <p>座間市市民参加推進条例第6条に基づき行った市民参加手続数(年間)</p> | <p>30件</p> <p>基準値:24 (R3)</p> |

2 市民等が主体的に地域活動等を実践できるように支援します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|--|--|
| <p>■ コミュニティ施設利用者数</p> <p>市内のコミュニティセンター及びプラっとざまの利用者数(年間)</p> | <p>332,000人</p> <p>基準値:153,858 (R3)</p> |
| <p>■ 地域活動に参加した人の割合</p> <p>アンケートで「地域の活動に参加した」と回答した市民の割合(調査時点)</p> | <p>50%</p> <p>基準値:33 (R4)</p> |



施策
7

産業振興

本市は、道路や鉄道の交通ネットワークにより首都圏へのアクセスの利便性が高いことから、近年、大型商業施設や物流施設の立地が続き、生産地と消費地が近いという特性を生かした都市農業としての利点を有しています。

一方で、各産業では、経営者や担い手の高齢化や後継者不足といった課題にも直面しています。

こうしたことを踏まえて、ものづくり産業や地元商店街、大型商業施設、新鮮な地場農産物等、地域の特徴や地理的特性を生かし、働きやすい環境によって人材を確保し、産業基盤の安定と強化に取り組む必要があります。

取組の具体的事例

ざま市民朝市



地産地消の促進及び商業活性化のため、地元農家が生産した新鮮な野菜や、本市の特産品などを販売する、朝市を開催しています。

関わる主な市民等 | 地元の農業者、地場産品や特産品を購入する市民

施策の方向性

1 関係機関と連携し、商業及び工業の活性化を支援します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|---|--|
| <p>■ 製造品出荷額等</p> <p>市内の工業における製造品の出荷額等(年間)</p> | <p>293,828百万円</p> <p>基準値:289,493 (R1)</p> |
| <p>■ 商業事業所数</p> <p>市内の卸売業、小売業、飲食サービス業及び生活関連サービス業の事業所数(6月1日現在)</p> | <p>1,408事業所</p> <p>基準値:1,374 (H28)</p> |

2 耕作農地の規模拡大や地産地消の推進による農業経営の安定化を支援します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|---|---|
| <p>■ 担い手への農地の集積面積</p> <p>農業の担い手が農地を借り受けている面積(3月31日現在)</p> | <p>39ha</p> <p>基準値:19.5 (R3)</p> |



安全・安心で環境にやさしいまちづくり

地球温暖化の進行に伴って、環境保全に関する様々な取組が行われ、市民の環境に対する意識が高まっています。

また、激甚化、頻発化する風水害やいつ発生するか分からない大規模地震などの災害に備え、災害に強いまちであることが求められています。

さらには、日常生活に密接に関わる交通安全や防犯についても、市民は高い関心を示しています。

こうした安全なまちで安心して暮らし続けたいという市民の思いを踏まえて、地域における多様な主体と連携して交通安全や防犯に対する意識を高め、自然災害の激甚化、頻発化に備えた体制を整備するとともに、風水害の要因と考えられる地球温暖化対策として環境負荷を低減し、安全・安心で暮らしやすいまちづくりに取り組みます。

● 安全・安心で環境にやさしいまちづくり

施策8 安全・安心な生活環境の整備

施策9 防災・減災

施策10 地球温暖化対策の推進

施策11 資源循環の推進

施策12 消防力の強化

関連個別計画



○座間市交通安全計画

○座間市地下水保全基本計画

○座間市地域防災計画

○座間市業務継続計画

○座間市国民保護計画

○座間市環境基本計画

○座間市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

○座間市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

○座間市地域気候変動適応計画

○一般廃棄物処理基本計画

○大和高座ブロックごみ処理広域化実施計画

○大和・高座地域循環型社会形成推進地域計画

現在と”未来”の市民の声

未来

安全なまちだし、自分でも地震とか大雨に備えているから、安心して暮らせる

これも大事な資源になるから、きちんと分別しよう

訓練を見学したり、参加したり、自分にも人助けができる知識が身についたかな

現在

これは燃やすごみかな？
わからないなあ、どっちだろう？

最近は自然災害が多いし、規模も大きいから不安

消防の知識って難しいし
大変そうだから、消防に関わるのは難しいなあ



施策
8

安全・安心な生活環境の整備

交通安全や防犯、環境保全など日常生活における安全・安心に対する市民の関心が高まっています。

こうしたことを踏まえて、市民一人一人の意識を高め、地域における多様な主体と連携しながら、交通安全や防犯、環境保全に取り組む必要があります。

取組の具体的事例

防犯設備の整備



犯罪の起きにくい安全で安心なまちづくりと交通安全のため、市内の公道を中心に防犯灯や防犯カメラなどの設置及び管理を行っています。

関わる主な市民等 | 全般

施策の方向性

- 1 交通安全や防犯に対する意識の向上を図るとともに、地域や警察、関係団体等と連携し、交通事故や犯罪の未然防止や抑止につながる取組を推進します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| ■ 交通事故件数 市内で発生した交通事故の件数(年間) | 210件 基準値:334 (R3) |
| ■ 刑法犯罪件数 市内で発生した刑法犯罪の件数(年間) | 400件 基準値:527 (R3) |

- 2 環境保全の意識を高め、暮らしやすい生活環境を維持します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|--|-----------------------------|
| ■ 環境基準(地下水)の達成率 地下水に設定されている環境基準の達成率(3月31日現在) | 100% 基準値:100 (R3) |
| ■ 環境基準(騒音)の達成率 騒音に設定されている環境基準の達成率(3月31日現在) | 100% 基準値:100 (R3) |



施策

9

防災・減災

近年、全国各地で激甚化、頻発化している自然災害により、甚大な風水害の被害が発生しているほか、大規模地震の発生確率の上昇が懸念されるなど災害対策の重要性が増しています。

こうしたことを踏まえて、いつ発生するか分からない災害に対して、自らの命は自ら守ることを念頭に置き、市民一人一人の自助、共助、公助に対する意識の醸成による地域防災力の強化や、発災による被害からの迅速な復旧など災害に強いまちづくりに取り組む必要があります。

取組の具体的事例

座間市いっせい防災行動訓練(シェイクアウト訓練)



「生き残らなければ何も始まらない」をキーワードに、地震発生から1分間の行動訓練として、決まった時間に一斉に体を守る基本行動をその場で行います。

関わる主な市民等 | 全般

施策の方向性

1 防災・減災に対する啓発や訓練により、地域防災力を強化します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|---|------------------------------|
| ■ 緊急情報の受信登録率 市LINE公式アカウントの受信設定で防災・減災分野を登録している人の割合(4月1日現在) | 100% 基準値:16.2 (R4) |
| ■ 防災訓練等実施率 自主防災組織が設置されている単位自治会において、防災訓練等が実施されている割合(年間) | 100% 基準値:16.4 (R3) |

2 予測できない災害に備えて体制や基盤を整備し、災害対応力を強化します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|--|----------------------------|
| ■ 自主防災組織設置率 単位自治会のうち、自主防災組織が設置されている割合(4月1日現在) | 100% 基準値:68 (R4) |
| ■ 避難所運営委員会設置率 避難所運営委員会が設置されている一次避難所の割合(4月1日現在) | 100% 基準値:75 (R4) |



施策

10

地球温暖化対策の推進

地球温暖化の進行に伴い、猛暑や豪雨などのリスクが高まっている状況を受けて、本市は2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す、座間市ゼロカーボンシティ宣言を令和4年2月に行いました。

本市のかけがえのない自然を後世に受け継ぐために、地球温暖化という課題に真摯に向き合い、脱炭素社会の実現に取り組む必要があります。

取組の具体的事例

SDGs エコポスターコンクール



市内小・中学生を対象に環境に関わるSDGsの啓発を目的としたSDGsエコポスターコンクールを協定締結している民間企業と連携して開催しています。

関わる主な市民等 | SDGsに関心がある市内小・中学生

施策の方向性

1 廃棄物の減量を通じて、脱炭素社会の実現を目指します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|---|---|
| <p>■ 二酸化炭素排出量(市域全体)</p> <p>市域で排出された二酸化炭素排出量換算による温室効果ガス排出量(年間)</p> | <p>298.9 千 t-CO₂</p> <p>基準値: 560.2 千 t-CO₂ (H25)</p> |

2 再生可能エネルギーの導入を推進し、脱炭素社会の実現を目指します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|-------------------------------------|-----|
| <p>[再掲]</p> <p>■ 二酸化炭素排出量(市域全体)</p> | — |



施策

11

資源循環の推進

地球資源の枯渇を防ぐことは、喫緊の課題です。

本市は循環型社会の形成を推進していることから、家庭や事業所で不要となって排出されるものが資源としてきちんと分別され、効率良く収集・再生されるよう、一人一人の意識や地域における取組を高めていく必要があります。

また、熱回収や発電といった環境負荷を低減する取組とともに、高度な技術を取り入れながら、環境と経済の好循環を実現していく必要があります。

取組の具体的事例

ごみの分別講座



子どもたちを対象に、遊びながら分別について学んでいく「わくわくエコ遊び」と、対面で講義をする「エコ講座」の2種類を要望に応じて、保育所や小学校などで行っています。

関わる主な市民等 | 保育所や小学校などに通う子ども、保護者

施策の方向性

1 | 資源物を有効活用します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|-------------------------------|-------------|
| ■ (家庭系)総排出量に占める資源物量の割合 | 40% |
| 家庭系ごみの年間総排出量に対する資源物回収量の割合(年間) | 基準値:33 (R3) |

2 | 資源物の適正な分別を促し、効率的な処理を行います。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|--------------------------------|-----|
| [再掲] ■ (家庭系)総排出量に占める資源物量の割合 | — |



施策

12

消防力の強化

市民の生命・財産を脅かす災害や事故は、これまで以上に大規模かつ複雑化、多様化する傾向にあり、消防及び救急業務を安定的かつ持続的に遂行し、蘇生率を向上することが重要です。

こうしたことを踏まえて、消防車両や資機材の整備、部隊の体制確保など消防力の充実強化とともに、地域防災力の強化に取り組む必要があります。

取組の具体的事例

消防団の入団促進、訓練などの実施



いつ起きるか分からない災害に備え、消防団の入団促進と災害対応訓練を実施するほか、消防庁舎にて普通救命講習などを積極的に行います。

関わる主な市民等 | 全般

施策の方向性

- 1 消防の責務を十分に果たすため、消防力の充実強化を図り消防施設等を整備します。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|------------------------------------|---------------|
| ■ 消防施設等の整備率 | 100% |
| 消防力の整備指針に基づく消防施設等(車両)の整備率(3月31日現在) | 基準値:92.9 (R3) |

- 2 地域における安全・安心を確保するため、普通救命講習の実施や消防団員の充実強化を図ります。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|--|---------------|
| ■ 現場での応急手当の実施率 | 100% |
| 重症傷病者などの救急搬送件数に対して救急車到着時に応急手当が実施されている件数の割合(年間) | 基準値:58 (R3) |
| ■ 消防団員の充足率 | 100% |
| 消防団員の定員数に対する実員数の割合(4月1日現在) | 基準値:81.6 (R4) |



健康に暮らせるまちづくり

高齢化の進行や新型コロナウイルス感染症の感染拡大などにより市民の健康に対する意識は、高まっています。

また、生活習慣や働き方が変化し、身体だけではなく心の健康にまで、意識を向けるようになりました。

こうしたことを踏まえて、健康寿命の延伸につながる各種健康診断を実施し、万が一の病気やけがにいつでも対処できる医療体制を整備するとともに、市民が文化や生涯学習、スポーツに親しみながら心身ともに良好な状態で日常を送れるまちづくりに取り組みます。

● 健康に暮らせるまちづくり

施策13 健康医療

施策14 スポーツ

施策15 生涯学習・文化芸術

関連個別計画



- ざま健康なまちづくりプラン
- ざま食育推進プラン
- 座間市スポーツ推進計画
- 座間市生涯学習プラン
- 座間市立図書館サービス計画
- 座間市子ども読書活動推進計画

現在と”未来”の市民の声

未来

座間市に住んで健康を意識するようになった！
毎年の健康診断も欠かさずに受けている！

スポーツイベントに参加して、
運動習慣が身についたよ

スポーツや文化に触れる機会が増えて、
新しい趣味もできたし、心も体も健康になったよ

現在

運動習慣もなかなか身につかない

健康面に不安はあるけど生活リズムを変えるのは難しい・・・

新しい趣味を持ちたいけど、見つからないんだよね



健康医療

高齢化の進行、生活習慣病の増加等により、医療費の負担が増大しています。こうした状況の中、誰もが心身ともに健康な生活を送れるよう、一人一人が主体的に取り組める環境を整備することが求められています。

そのため、各種検(健)診及び休日夜間でも受診できる初期救急医療体制の充実等、健康寿命を延伸させる取組が必要です。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、個人の健康のみならず、社会経済に多大な影響を及ぼしました。この経験から、様々な感染症に対する正しい知識や日常的な予防対策についての普及啓発が必要です。

取組の具体的事例

各種検(健)診事業



病気の早期発見、健康寿命の延伸のため、がん検診のほか各種検(健)診を実施しています。

関わる主な市民等 | 受診対象となる市民

施策の方向性

1 心身ともに健康な生活が送れるよう健康づくりの環境整備や各種検(健)診体制の充実に努めます。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|--|-----------------------------------|
| ■ がん検診受診件数 本市が実施する各種がん検診の受診件数(年間) | 18,000件 基準値:17,531 (R3) |
| ■ 救急医療が整備されていると感じる市民の割合 アンケートで「夜間、休日等、医療機関の診療時間外に、必要な医療を受けることができると感じる」と回答した市民の割合(調査時点) | 50% 基準値:46 (R4) |



施策

14

スポーツ

本市では、健やかでやすらぎに満ちた地域社会を目指して、健康なまちづくりを進めています。

市民のスポーツに関するニーズを捉えながら、市民が自主的に心身の健康を維持し、スポーツに親しめる環境を整備する必要があります。

また、市民の自主的な活動の母体となるスポーツ団体等の活動を支援する必要があります。

取組の具体的事例

市民健康マラソン大会



健康増進や体力づくり、スポーツへの意識向上を目的にマラソン大会を開催しています。

関わる主な市民等 | スポーツ少年団員、ジョギング・ランニング愛好者、スポーツ関係団体

施策の方向性

1 市民や団体等が自主的に活動できるスポーツ環境づくりに取り組みます。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|----------------------------------|----------------|
| ■ 施設稼働率 | 85% |
| スポーツ施設の使用可能区分に対して、使用された区分の割合(年間) | 基準値:71 (R3) |
| ■ 各事業の参加者数 | 4,500人 |
| 本市が主催するスポーツイベント事業の参加者数(年間) | 基準値:2,182 (R3) |



生涯学習・文化芸術

本市では、いつでもどこでもだれでも学べ、市民文化の創造ができるまちを目指し、生涯学習を推進しています。

市民が心身の健康を維持し、豊かな人生を送ることができるように、学習環境や文化芸術活動に取り組む環境を整備する必要があります。

また、市民が自分の住むまちに愛着や誇りを持てるように、文化財や郷土資料の保存活用・伝統文化の継承支援に取り組む必要があります。

取組の具体的事例

市民芸術祭



市民の自主的な創作発表、鑑賞活動の機会を提供するため、市民芸術祭を開催しています。

関わる主な市民等 | 文化芸術に興味がある市民、文化芸術関係団体

施策の方向性

1 市民がいつでもどこでもだれでも学べる環境づくりに取り組みます。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|--|-------------------------------------|
| ■ 図書等貸出資料数 図書館、移動図書館、公民館等図書室の個人貸出数(年間) | 960,000点 基準値:939,763 (R3) |
| ■ 生涯学習事業の参加者数 市主催生涯学習事業の参加者数(年間) | 84,000人 基準値:13,623 (R3) |

2 市民が文化芸術に親しむ環境づくりに取り組みます。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|--|----------------------------------|
| ■ 文化芸術事業の参加者数 市主催文化芸術事業の参加者数(年間) | 34,000人 基準値:8,770 (R3) |

3 郷土博物館の設置に向けて取り組みます。

| まちづくり指標 | 目標値 |
|---|----------------------------------|
| ■ 史料の整理点数 郷土資料の調査を進め、史料目録に記載が完了したもの(累計) | 17,600点 基準値:2,729 (R3) |

